

第 87 回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

大会要項(案)

2020 年 6 月 11 日現在

- 1.大会名称 第 87 回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会
 - ・1 次ラウンド
 - ・2 次ラウンド
 - ・ファイナルラウンド
- 2.主催 公益財団法人 日本バスケットボール協会
- 3.共催(予定) ≪1 次～ファイナルラウンド≫共同通信社
≪1 次～2 次ラウンド≫北海道新聞社、東奥日報社、デーリー東北新聞社、秋田魁新報社、岩手日報社、河北新報社、山形新聞社、福島民報社、福島民友新聞社、下野新聞社、茨城新聞社、上毛新聞社、千葉日報社、埼玉新聞社、東京新聞、神奈川新聞社、山梨日日新聞社、信濃毎日新聞社、新潟日報社、北日本新聞社、北國新聞社、福井新聞社、静岡新聞社、岐阜新聞社、中日新聞社、奈良新聞社、京都新聞、神戸新聞社、産経新聞社、山陽新聞社、中国新聞社、山陰中央新報社、新日本海新聞社、四国新聞社、愛媛新聞社、徳島新聞社、高知新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社、長崎新聞社、大分合同新聞社、熊本日日新聞社、宮崎日日新聞社、南日本新聞社、沖縄タイムス社、琉球新報社
- 4.主管 ≪1 次ラウンド≫
 - (一社) 福島県バスケットボール協会 (東日本大会)
 - (一社) 石川県バスケットボール協会 (中日本大会)
 - (一社) 福岡県バスケットボール協会 (西日本大会)≪2 次ラウンド≫
 - (一社) 神奈川県バスケットボール協会 (神奈川大会)
 - (一財) 愛知県バスケットボール協会 (愛知大会)
 - (一財) 大阪府バスケットボール協会 (大阪大会)
- 5.協賛(予定) ≪1 次～ファイナルラウンド≫株式会社 モルテン
≪ファイナルラウンド≫未定
- 6.後援(予定) NHK
- 7.大会方式 トーナメント戦によるノックアウト方式
- 8.競技規則 大会各ラウンドとも開催時における最新のバスケットボール競技規則で実施する。
※現状においては「2020 バスケットボール競技規則 (Official Basketball Rules2019)」を最新とし、プレーヤーが競技中に身につけるものは、原則として日本バスケットボール協会の「競技規則 第 4 条 4-4 その他の身につけるもの」に準ずる。
- 9.使用球 モルテン B6G5000 を使用する。

- 10.出場チーム 女子総数:59 チーム
 《1次ラウンド》 47 チーム
 <東日本大会> 北海道～山梨の都道府県代表 15 チーム
 <中日本大会> 長野～和歌山の都道府県代表 15 チーム
 <西日本大会> 鳥取～沖縄の都道府県代表 17 チーム
 ※1次ラウンド出場に向けた各都道府県予選は8月末までに終了し、都道府県代表チームを決定する。但し、各都道府県予選が実施出来ない場合は、客観的な事実に基づき、各都道府県の理事会にて、推薦チームを選出する。
- 《2次ラウンド》 25 チーム / 1次ラウンド突破 13 チーム+Wリーグ 12 チーム
- 《ファイナルラウンド》2次ラウンドで勝利し、ファイナルラウンドに進出した8チーム
- 11.大会日程
 《1次ラウンド》 2020年9月12日(土)～13日(日)
 《2次ラウンド》 2020年11月28日(土)～11月29日(日)
 《ファイナルラウンド》 2020年12月17日(木)～20日(日)
- 12.会場
 《1次ラウンド》 ※3会場
 <東日本大会> 宝来屋 郡山総合体育館 (福島県郡山市)
 <中日本大会> 金沢市総合体育館 (石川県金沢市)
 <西日本大会> 久留米総合スポーツセンター (福岡県久留米市)
- 《2次ラウンド》 ※3会場
 <神奈川大会> トクエイセキュリティ平塚総合体育館(平塚市)
 <愛知大会> スカイホール豊田(豊田市)
 <大阪大会> 岸和田市総合体育館(岸和田市)
- 《ファイナルラウンド》
 国立代々木競技場第二体育館 (東京都渋谷区)
- 13.参加資格
 ① 2020年度において(公財)日本バスケットボール協会に加盟登録されたチームであること。
 ② 2020年度において(公財)日本バスケットボール協会に競技者登録された選手であること。
 ③ 帰化選手(満16歳となった後に国籍法に基づく帰化によって日本国籍を取得した選手をいう。)及び外国籍選手(基本規程による)の大会登録人数および出場については、チーム編成の項で定める。
- 14.チーム編成
 ① チーム編成はスタッフ9名、選手16名の計25名以内とする。
 ② 大会を通じて、ベンチで指揮するもの(任務と権限は、競技規則第7条に基づく)は、JBA公

認コーチであること。またその資格は、JBA 公認 D 級コーチ以上でなければならない。

- ③ 外国籍選手（基本規程による）及び帰化選手の出場は下記の通りとする。
- ・ 各ラウンドで選手登録できる外国籍選手数は、1 チーム 2 名までとする。ただし、帰化選手（満 16 歳となった後に国籍法に基づく帰化によって日本国籍を取得した選手をいう。以下同じ。）を選手登録する場合は、外国籍選手、帰化選手それぞれ 1 名までとする。
 - ・ 各試合にエントリー（以下、試合エントリーという。）できる外国籍選手および帰化選手は合計 2 名までとし、そのうち帰化選手は 1 名までとする。
 - ・ 試合中同時にコート上でプレーできる外国籍選手は 1 名とし、帰化選手は常時、外国籍選手と同時にプレーすることができる。
 - ・ 延長時限においても前項と同様に扱う。

15. 申込方法

出場チームは「TeamJBA」を通じて申込を行うこととする。

また、申込の際にチーム集合写真（カラー/濃色ユニ着用）を提出しなければならない。

16. 大会申込

～試合エントリー

- ① 大会申込期限（チームの申込手続き、選手・スタッフの登録、参加料の振り込み）
- ・ 1 次ラウンド: 未定
 - ・ 2 次ラウンド: 未定
 - ・ ファイナルラウンド: 未定
- 注意事項
- ・ 本大会に参加する選手は、JBA 登録規定に基づき、大会申込手続きを行わなければならない。
 - ・ 参加チームは、その時点におけるベストメンバーをもって公式試合に臨まなければならない。
 - ・ 大会申込みできる選手は、大会申込み期限に当該チームに競技者登録されている選手を対象とし、各ラウンドで選手登録するチームが変わることは可能。
- ② 登録選手・スタッフ変更期限（上記①の大会申込期限以降に、申込時の登録内容に変更または追加が生じた場合）
- ・ 1 次ラウンド: 未定
 - ・ 2 次ラウンド: 未定
 - ・ ファイナルラウンド: 未定
- 注意事項
- ・ 大会申込されていない選手の試合エントリーは認めない。また、試合直前のウォーミングアップにも参加させてはならない

17. ユニフォーム

原則として、組合せ番号が若いチームを淡色とするが、対戦する両チームの話し合いにより決めてよい。ただし、両チームともに淡色を着用することは不可とし、濃色については両者が同色系以外であると大会実施委員会の認定を受けることを条件とする。

- ・ チームは濃色・淡色各ユニフォームを用意し、濃淡同番号とする。
- ・ ユニフォーム以外に身に着けるものは競技規則に準ずる。

- 18.大会参加料 30,000 円(初回の参加申込時のみ)
- 19.強化奨励金・賞金 チームには賞金および強化奨励金を支給する。詳細は確定次第通知する。
- 20.組合せ
- <<1 次ラウンド>>
- ・ 大会実施委員会の責任抽選にて抽選を行い、対戦を確定するものとする。
- <<2 次ラウンド>>
- ① 1 次ラウンド終了後に、大会実施委員会の責任のもと、1 次ラウンド勝利チームの 2 次ラウンドの対戦を確定する。
- ② 2 次ラウンドより参戦の W リーグチームは、2018-19 シーズンの前シーズンの成績及び入れ替え戦の結果順位をもとに予め組合せを決定するものとし、抽選は行わない。
- ③ 2 次ラウンドを主管する 3 府県に登録するチームは、各府県で試合が行えるよう特別考慮する。また 3 府県の代表チームが、2 次ラウンドに進出した場合も同様とする。ただし、複数チームあった場合は最大●チームまでとする。
- ④ その他のチームは、移動時間や費用負担軽減の観点から、原則出場した 1 次 R エリア内もしくは近い 2 次ラウンド会場にて試合を行えるよう、JBA 天皇杯・皇后杯実施委員会の責任において会場を決定する。ただし、各会場の出場チーム数には制限があるため、確約するものではない。
- <<ファイナルラウンド>>
- ・ 2 次ラウンド終了後に、抽選会を行い、組合せを決定する。
- ・ ファイナルラウンドに前年大会優勝チームが進出した場合、トーナメント番号の最も大きい場所に位置し、準々決勝は試合日程の最終試合とする。
- 21.代表者会議 代表者会議は行わない。諸連絡は文書にて事前に通知する。
- 22.ベンチ 組合せ番号の若いチームがテーブル・オフィシャルズに向かって右側とする。
- 23.ドーピング
 コントロール ドーピングコントロール実施対象大会とする。

* 各ラウンド別の詳細な大会要項は、別途お送りいたします。